



最高のお気に入り。

www.bbs-japan.co.jp

SNSでBBSの最新情報をチェックしよう。

Facebookでは、イベントへの出展・最新の商品情報、Instagramでは、 鍛造ホイールの装着イメージなどを中心に、おすすめの商品情報や レースの情報などをお届けしています。









BBSジャパン株式会社

アフター営業窓口 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1芝パークビルA館12F TEL.03-6402-3957 FAX.03-6402-3038 東京本社 〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1芝パークビルA館12F TEL.03-6402-4090 FAX.03-6402-4110 高岡本社・工場 〒933-0313 富山県高岡市福田六家525

■写真は一部装着イメージです。 ■F1™は、Formula One グループの企業であるFormula One Licensing BVの商標です。

BBS JAPAN

Brand Book Specialite





人生を彩る。自分らしく。



Creative Life











TOVOTA CR86 + RE-VI

Creative Maker 心ゆさぶる、ものづくりを。



そのホイールは、夢を乗せて走り、胸を熱くする。

勝利をつかみとる、パートナーとして。

1992年、フェラーリ社からの依頼による、世界初の「F1™用マグネシウム 鍛造ホイール」の実現。そこから、BBS はレーシングチームのパートナー として本格的に歩み始めた。過酷な条件下、0.1秒削ることに心血を注ぐ レースの世界。求められる基準は当然高い。だからこそ、BBSは挑戦を やめない。鍛造を突き詰め、ホイールとタイヤの性能を最大限に引き 出す。ドライバーの声もつぶさに拾う。その成果は、ドライビングフィール の確かな違いに表れる。ステアリングを切り始めたときのスムーズな 動き。連続性のある自然な操舵感。コーナーで利くふんばり。路面の 凹凸でのフラット感。タイヤへのダメージを最小限に留める安心感。 勝利という夢に向かって駆けるマシンを力強く後押しする。国内外メジャー レースに参戦するチームとともに、BBSは今日も走りつづけている。

鍛造が生みだす、「強さ」と「しなやかさ」。

BBSの鍛造ホイールは、金属に強大な加圧力をかけることで、その性能 を引き出していく。少しずつ、少しずつ。金属が4分の1の高さになるまで 鍛え上げる。そうして命を吹き込むことで、マシンの躍動を支える、「強さ」 と「軽さ」、そして路面からの衝撃をいなす「しなやかさ」が生まれる。 このレーシングホイールと同じ技術、職人、ファクトリーによって、市販 ホイールも開発・製造される。レースで得たデータとノウハウで、世の中 にも感動を届けたい。その想いがBBSを突き動かしている。





ある工程では最新のテクノロジーも取り入れ ホイールの品質、性能、意匠性を磨き上げている。



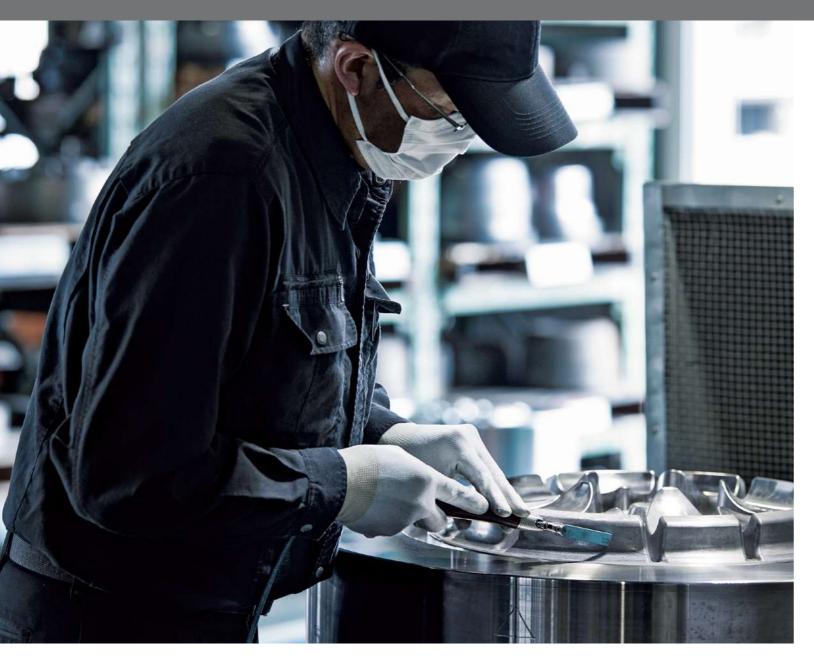




Official Wheel Rim Provider of Formula 1°

2022年のF1™において、BBSがホイールを独占供給。 参戦する全チームがBBSを履いてレースに挑む。







ホイールを輝かせるとともに強度も守る。 その仕上がりを職人が見極めている。

至高の1本には、ひとの熱がこもる。

職人の技と目で、工芸品のような美しさへ。

BBSが創造したいのは、ともに人生を走れるホイール。だからこそ長く使えることはもちるん、いつまでも心に響きつづける意匠性も追い求める。その至高の1本には、職人の技と目が欠かせない。例えば、鍛造機で押しつぶされた金属をホイールの形状に整え、意匠面まで形づくる「金型」。製造工程における重要なこのピースはすべて、BBSの職人が製造・管理している。プレスの圧力が均一にかかるように。緻密な造形をかなえるために。熟練の技術と経験、そして志が品質を高め、守りつづけている。さらに成型したばかりのホイール表面に残る細かいバリやエッジといった肌荒れをとるのも、ひとの手。さまざまな手仕事

によって、指に吸いつくような質感となり、ホイールの裏側にまでこだわりが行き届く。そんなBBSのホイールはしばしば「工芸品のようだ」と評されている。

クルマメーカーが思い描く、最高を超える。

BBSのものづくりの情熱は、プレミアムなクルマで新たな価値を生み出すメーカーとの縁も引き寄せる。高いレベルが求められる開発において何度も指名を受け、応えてきた。クルマのつくり手と乗るひとが想像する、最高を超える。品質も、性能も、意匠性も。その強い意志を胸に、BBSは新しい価値の創造と向き合いつづける。

